

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 ミサワホーム中国株式会社
 コード番号 1728 URL <http://www.misawa-c.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 若月 恵治
 (氏名) 米田 修一

TEL 086-245-3204

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	20,169	△12.8	△381	—	△404	—	△219	—
26年3月期第3四半期	23,131	4.6	138	△14.3	113	△22.2	△7	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △231百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△19.09	—
26年3月期第3四半期	△0.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	23,019	6,204	27.0	538.94
26年3月期	21,698	6,337	29.2	550.42

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,204百万円 26年3月期 6,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,700	△9.0	240	△65.1	180	△72.0	90	△70.1	7.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	11,540,180 株	26年3月期	11,540,180 株
27年3月期3Q	26,999 株	26年3月期	26,799 株
27年3月期3Q	11,513,287 株	26年3月期3Q	11,516,580 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
 業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の追加金融緩和が景気下支え効果を発揮し、企業収益の回復や雇用環境の好転が確認できる状況が見受けられます。その一方で、消費税率引き上げ後の個人消費の節約志向も根強く残り、円安に伴う原材料価格上昇の影響や新興国の成長鈍化など、国内外とも経済情勢の不安定さは継続しているものと思われまます。

住宅業界におきましては、住宅ローン減税拡充や低金利継続を背景に、購入検討者のマインド向上に寄与する材料が揃っているものの、駆け込み需要の反動減の長期化に加え販売価格競争の激化や建築コスト上昇の影響もあり、住宅購買意欲の先行き不透明感を払拭出来ない状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループは各地で、これまで開催してきた「ウチ・コレ発表会」を刷新し、今まで以上に住まい全般に関する幅広いメニューやサービスを提案する全国一斉「GOOD! 住まいフェア」を開催するなど需要喚起に努め、受注拡大に向けた取組みを推進してまいりました。

また、地元の不動産会社を対象に不動産情報連絡会を定期的に開催するなど、関係強化による販路拡大にも注力してまいりました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高20,169百万円(前年同期比12.8%減)、営業損失381百万円(前年同期は138百万円の利益)、経常損失404百万円(前年同期は113百万円の利益)、四半期純損失219百万円(前年同期は7百万円の損失)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

①住宅請負事業

住宅請負事業部門の売上は、戸建住宅(木質、鉄骨、M J - w o o d)と、賃貸用のアパート等の請負によるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減や、建築コスト上昇による影響もあり、低調に推移しました。

この結果、売上高12,749百万円(前年同期比9.5%減)、セグメント損失148百万円(前年同期は132百万円の利益)となりました。

②分譲事業

分譲事業部門の売上は、建売分譲住宅、住宅用地の販売及び中古再生事業によるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、前連結会計年度において手がけた分譲マンション事業が完了したことにより販売戸数が減少しました。

この結果、売上高3,699百万円(前年同期比18.6%減)、セグメント利益46百万円(前年同期比52.4%減)となりました。

③ホームイング事業

ホームイング事業部門の売上は、増改築、インテリア、エクステリアなどの請負によるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、消費税増税後の受注減や競争激化の影響により、低調に推移しました。

この結果、売上高2,869百万円(前年同期比21.6%減)、セグメント利益168百万円(前年同期比44.6%減)となりました。

④その他事業

その他事業部門の売上は、借上アパートの転貸による家賃収入や不動産の仲介料収入及び損害保険の代理店収入などによるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、総じて若干の増収となり、賃貸管理等の手数料収入の増加により増益となりました。

この結果、売上高851百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益70百万円(前年同期比117.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較して1,321百万円増加しました。これは主に未成工事支出金が1,099百万円、未成分譲支出金が1,007百万円、流動資産のその他が881百万円それぞれ増加する一方、現金預金が1,926百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して1,453百万円増加しました。これは主に工事未払金が833百万円減少した他、短期借入金が977百万円、長期借入金が1,348百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の減少により、前連結会計年度末と比較して132百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、平成26年10月30日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が242百万円減少し、利益剰余金が156百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,035,010	3,108,304
完成工事未収入金	165,653	85,585
売掛金	1,443	883
分譲土地建物	5,419,158	5,649,910
未成工事支出金	1,808,961	2,908,364
未成分譲支出金	1,324,070	2,331,878
貯蔵品	5,845	7,367
その他	1,829,177	2,710,679
貸倒引当金	△555	△330
流動資産合計	15,588,765	16,802,641
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	829,490	750,842
土地	3,900,705	3,900,705
その他(純額)	34,218	103,376
有形固定資産合計	4,764,414	4,754,924
無形固定資産	86,025	75,181
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	65,936
その他	1,276,977	1,337,756
貸倒引当金	△17,899	△16,959
投資その他の資産合計	1,259,078	1,386,733
固定資産合計	6,109,517	6,216,839
資産合計	21,698,283	23,019,481

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,561,817	1,952,304
工事未払金	1,844,074	1,010,464
分譲事業未払金	47,705	48,919
短期借入金	5,047,034	6,024,132
未払法人税等	220,150	—
未成工事受入金	2,510,678	3,005,227
賞与引当金	394,100	97,825
完成工事補償引当金	619,500	426,240
その他	1,113,244	1,154,206
流動負債合計	13,358,305	13,719,321
固定負債		
長期借入金	1,311,402	2,659,622
退職給付に係る負債	280,537	77,519
役員退職慰労引当金	81,700	40,016
その他	329,099	318,057
固定負債合計	2,002,739	3,095,215
負債合計	15,361,045	16,814,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,369,850	1,369,850
資本剰余金	886,598	886,598
利益剰余金	3,884,752	3,764,029
自己株式	△6,333	△6,382
株主資本合計	6,134,867	6,014,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,235	71,974
退職給付に係る調整累計額	155,135	118,875
その他の包括利益累計額合計	202,370	190,850
純資産合計	6,337,238	6,204,944
負債純資産合計	21,698,283	23,019,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	23,131,317	20,169,436
売上原価	18,727,303	16,428,874
売上総利益	4,404,014	3,740,562
販売費及び一般管理費	4,265,535	4,122,024
営業利益又は営業損失(△)	138,478	△381,462
営業外収益		
受取利息	13,536	7,996
受取配当金	5,389	5,675
受取手数料	10,555	8,775
販売促進支援金	9,436	10,853
その他	15,711	12,007
営業外収益合計	54,629	45,309
営業外費用		
支払利息	73,312	55,102
その他	6,451	12,798
営業外費用合計	79,763	67,900
経常利益又は経常損失(△)	113,343	△404,053
特別利益		
固定資産売却益	—	671
投資有価証券売却益	1,768	33,545
特別利益合計	1,768	34,216
特別損失		
固定資産売却損	457	—
固定資産除却損	63	6,649
減損損失	52,211	57,803
ゴルフ会員権売却損	1,525	486
完成工事補償引当金繰入額	404,070	—
特別損失合計	458,327	64,939
税金等調整前四半期純損失(△)	△343,216	△434,776
法人税、住民税及び事業税	20,678	13,093
法人税等調整額	△356,108	△228,063
法人税等合計	△335,429	△214,969
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,786	△219,806
四半期純損失(△)	△7,786	△219,806

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,786	△219,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,404	24,738
退職給付に係る調整額	—	△36,259
その他の包括利益合計	△10,404	△11,520
四半期包括利益	△18,190	△231,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,190	△231,327

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負事 業	分譲事業	ホームイン グ事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	14,087,947	4,546,031	3,658,011	839,327	23,131,317	—	23,131,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	845,402	1,076	846,479	△846,479	—
計	14,087,947	4,546,031	4,503,413	840,404	23,977,797	△846,479	23,131,317
セグメント利益	132,129	98,634	303,965	32,389	567,118	△428,640	138,478

(注) 1. セグメント利益の調整額△428,640千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負事 業	分譲事業	ホームイン グ事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	12,749,236	3,699,524	2,869,377	851,298	20,169,436	—	20,169,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	904,833	1,056	905,889	△905,889	—
計	12,749,236	3,699,524	3,774,211	852,354	21,075,326	△905,889	20,169,436
セグメント利益または セグメント損失(△)	△148,955	46,946	168,285	70,491	136,767	△518,229	△381,462

(注) 1. セグメント利益またはセグメント損失の調整額△518,229千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益またはセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループでは、生産実績を定義することが困難であるため、「生産実績」は記載を省略しております。

②受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
住宅請負事業	13,269,233	77.2	12,353,665	86.0
分譲事業	6,788,785	141.8	3,442,750	263.5
ホームイング事業	2,869,377	78.4	—	—
その他事業	873,983	104.1	—	—
合計	23,801,380	89.9	15,796,415	100.8

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前期以前に受注した工事で契約内容の変更により請負金額が変更したものについては、受注高にその増減を含めております。

3. ホームイング事業及びその他事業については、施工期間が短く繰越工事量が少ないため、受注高は販売実績により表示しており、受注残高については表示しておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	前年同四半期比(%)
住宅請負事業(千円)	12,749,236	90.5
分譲事業(千円)	3,699,524	81.4
ホームイング事業(千円)	2,869,377	78.4
その他事業(千円)	851,298	101.4
合計(千円)	20,169,436	87.2

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。